

平成26年度 特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護の 入所受入れ等に係る調査結果

■ 調査の概要

1 目的

北九州市内の特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の入所者の状況や入所受入れ状況を把握することにより、第6期介護保険事業計画を検討する上での参考資料とすることを目的として調査を行った。

2 調査対象

(1) 特別養護老人ホーム

平成26年4月1日現在運営されている市内特別養護老人ホーム（64施設）

※地域密着型特別養護老人ホームを含む

※一部ユニット型の施設は、1施設として取り扱う

(2) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

平成26年4月1日現在運営されている（平成26年4月1日開設事業所は除く）

市内グループホーム（139事業所）

3 調査方法

郵送調査

4 調査実施期間

平成26年5月1日から7月24日

5 回収状況

(1) 特別養護老人ホーム

64施設中、64施設から回答（回収率：100%）

(2) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

139事業所中、137事業所から回答（回収率：98.5%）

6 集計上の注意

図表においては、有効回答（施設）数を「N」で表記した。グラフの数字は、原則として回答数を100とした場合の構成比（%）で表示している。なお、構成比（%）は、小数点第1位あるいは第2位以下を四捨五入したものであり、結果として100%にならない場合がある。

特別養護老人ホームに係る調査結果

■ 調査対象施設の概況

1 施設定員数

調査基準日（平成 26 年 3 月 31 日）現在

施設数	施設形態別		定員数	居室種類の割合		
	広域型	地域密着型		多床室	従来型個室	ユニット型個室
64 施設	48 施設	16 施設	4,304 人	2,441 人 (56.7%)	149 人 (3.5%)	1,714 人 (39.8%)

2 待機者数

調査基準日（平成 26 年 3 月 31 日）現在

第一希望申し込み	第二希望申し込み	第三希望申し込み
3,551 人	1,817 人	1,168 人

■ 入所者・退所者について

1 年間の新規入所者数

年間の新規入所者数は、平成 24 年度が 1,412 人、平成 25 年度が 1,177 人となっている。

なお、新規開設に伴う定員増の影響を考慮した施設定員数に対する割合は、平成 24 年度、平成 25 年度いずれも約 25%となっている。

【図表 1】年間の新規入所者数 N=59(H24) N=64(H25)

	新規入所者数	回答施設定員数	比率
平成24年度	1,412人	4,159人	33.9%
平成25年度	1,177人	4,304人	27.3%

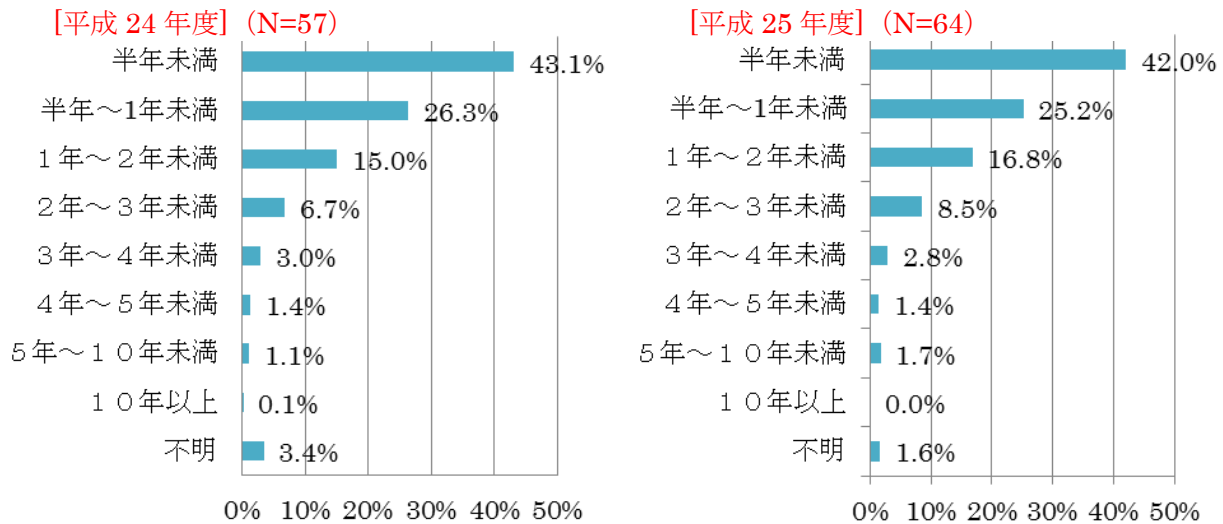
《参考》施設の新規開設に伴う入所を除いた入所者数

	新規入所者数	回答施設定員数	比率
平成24年度	961人	3,693人	26.0%
平成25年度	1,061人	4,159人	25.5%

2 新規入所者の待機期間

新規入所者の待機期間は、平成24年度、平成25年度いずれも「半年未満」が40%以上、「半年から1年未満」が約25%となっており、全体の約7割が1年未満、約9割強が3年未満に入所している。

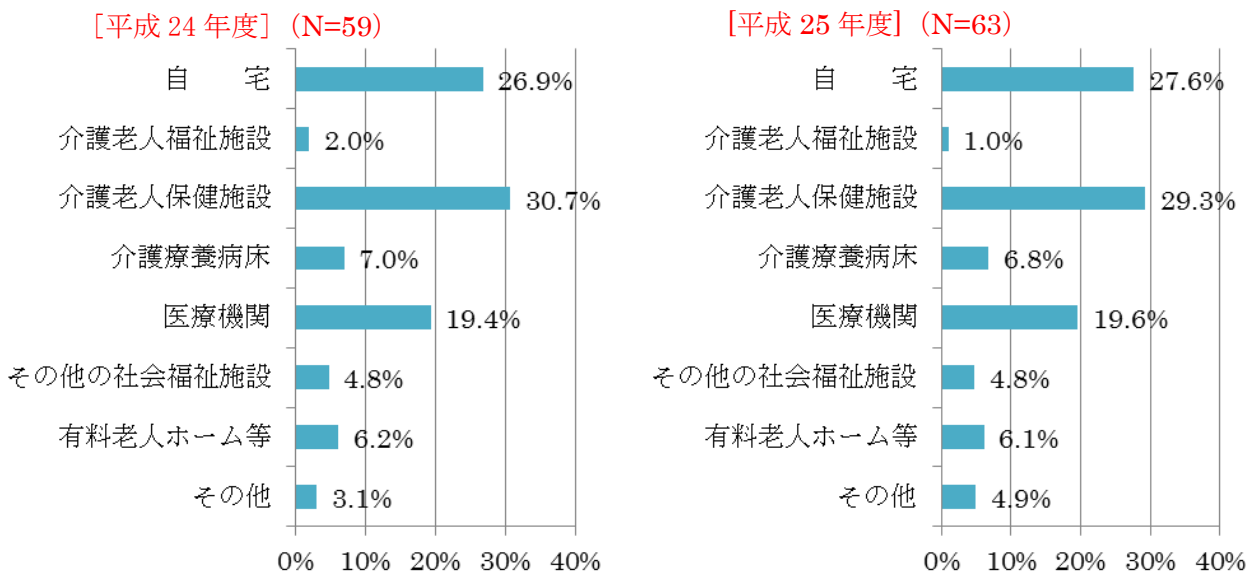
【図表2】新規入所者の待機期間



3 新規入所者の入所前の待機場所

新規入所者の入所前の待機場所は、「介護老人保健施設」が約30%、「自宅」が約27%であり、次いで「医療機関」約20%、「介護療養病床」約7%となっている。

【図表3】新規入所者の待機場所



4 年間の退所者数

年間の退所者数は、平成24年度が989人、平成25年度が1,073人であり、施設定員数に対する割合は、それぞれ約24%、約25%となっている。

(前回調査：平成21年度…25%、平成22年度…24%)

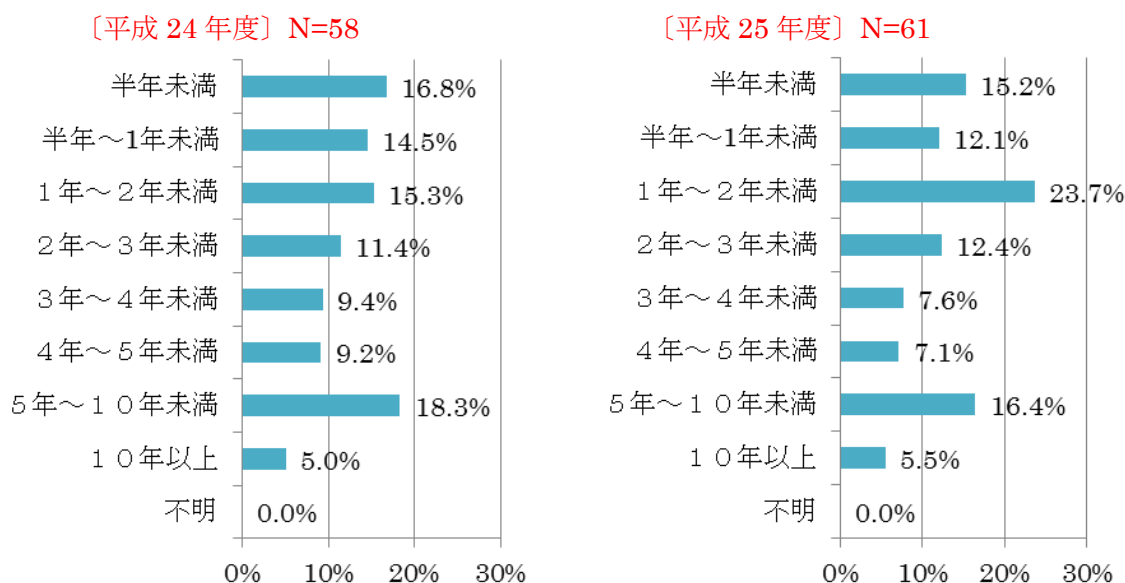
【図表4】年間の退所者数 N=58(H24) N=63(H25)

	退所者数	回答施設定員数	比率
平成24年度	989人	4,159人	23.8%
平成25年度	1,073人	4,304人	24.9%

5 退所者の入所期間

退所者の入所期間は、各年度とも、全体の4分の3強が5年未満となっている。また、平均入所期間は、平成24年度が「3年2か月」、平成25年度が「3年1か月」となっている。

【図表5】過去の退所者の入所期間



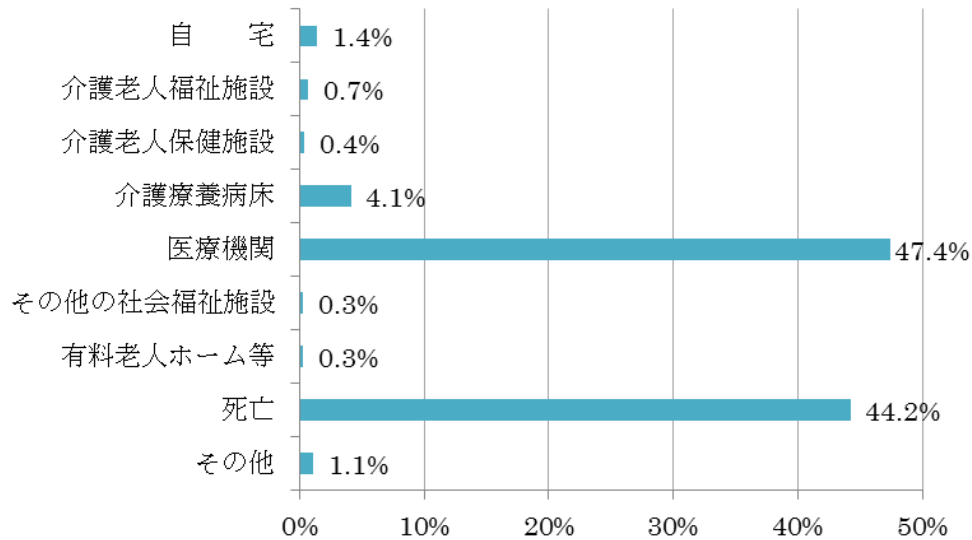
【図表6】過去の退所者の平均入所期間 N=58(H24) N=62(H25)

平成24年度	3年2か月
平成25年度	3年1か月

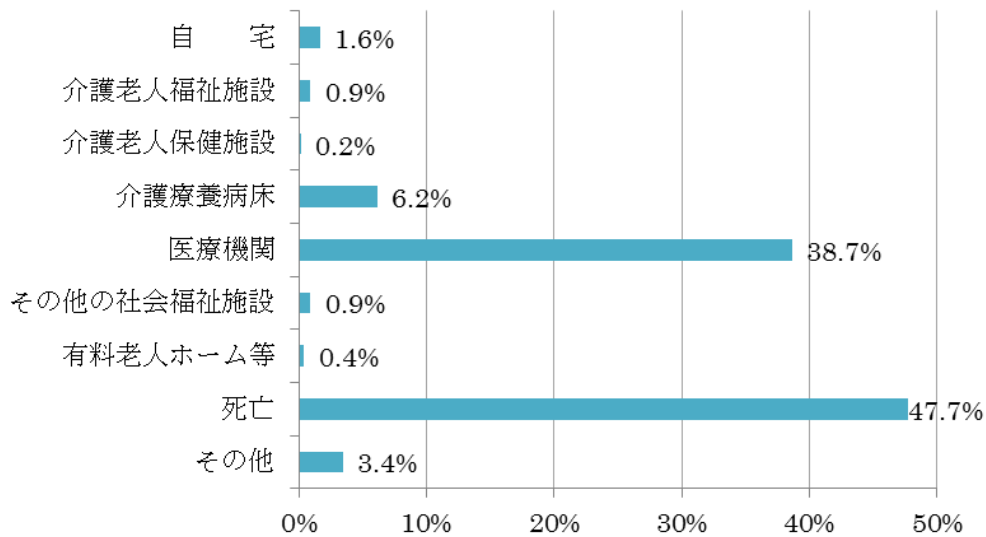
6 退所者の退所後の行き先

退所後の行き先については、平成24年度は「医療機関」が約47%、「死亡」が約44%、平成25年度は「医療機関」が約39%、「死亡」が約48%となっており、各年度とも「医療機関」と「死亡」の合計が約9割を占めている。

【図表7】平成24年度退所者の退所後の行き先 N=59



【図表8】平成25年度退所者の退所後の行き先 N=64



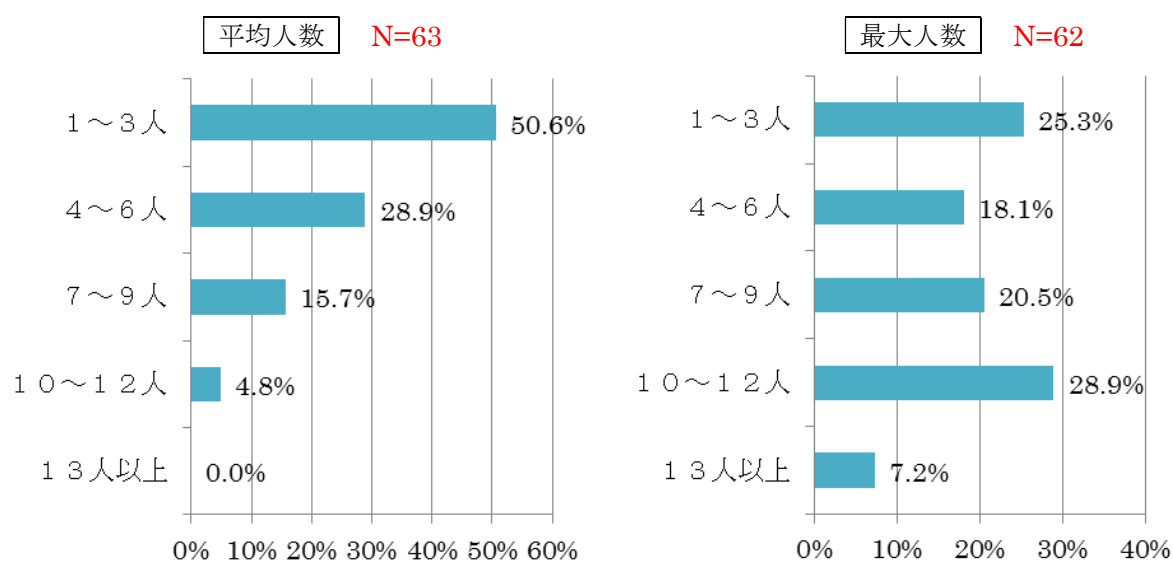
7 空床が出た場合の待機者への入所意向確認について

1床の空床が出た場合、次の入所者が決定するまでに平均何人の待機者に入所案内を行ったかについては、「1～3人」が約50%、「4～6人」が約30%、「7～9人」が約16%、「10～12人」が約5%で、全体の平均は5.6人となっている。

(前回調査：平均4.1人)

また、最大何人の人に入所案内を行ったかについては、「10～12人」が約30%と最も多く、「1～3人」が約25%、「7～9人」が約20%、「4～6人」が約18%、「13人以上」が約7%となっている。

【図表9】空床が出た場合の待機者への入所意向確認について



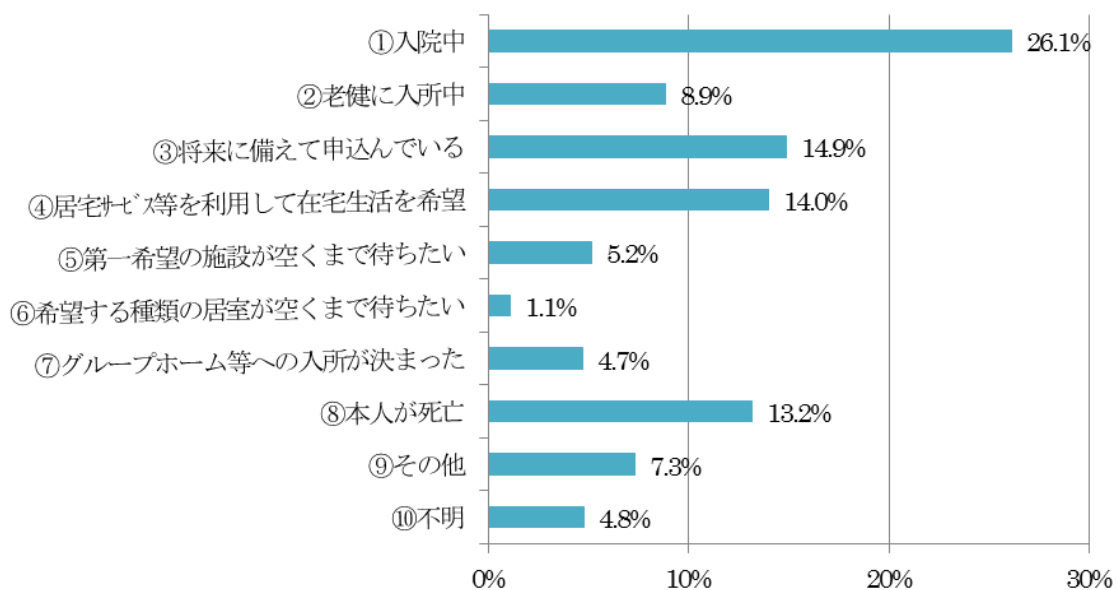
8 入所辞退理由

待機者に対して入所の案内を行ったが入所を辞退したケースの辞退理由は、「現在、病院に入院中である（引き続き治療が必要で、退院できる状況ではない）」が約25%、「現在、介護老人保健施設に入所中である」が約10%となっており、病院または施設に入院・入所中であることを理由とする辞退が約3分の1を占めている。

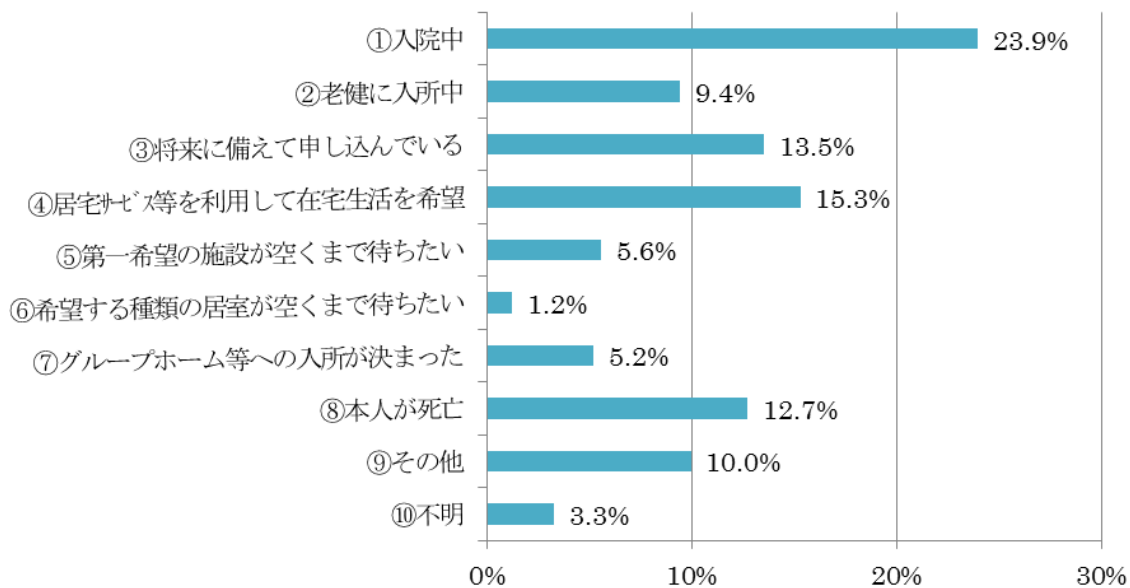
また、「将来に備えて申し込んでいる」「居宅サービス等を利用して在宅生活を希望する」がそれぞれ約14%となっており、このほか、「本人が死亡した」が約13%、「第一希望の施設が空くまで待ちたい」、「グループホーム等への入所が決まり、入所している」が5%程度となっている。

【図表 10】入所辞退の理由

〔平成 24 年度〕 N=58



〔平成 25 年度〕 N=63



■ 介護・看護体制

1 介護・看護職員の配置状況

介護・看護職員の配置状況については、各施設の常勤職員の勤務時間数に換算したところ、介護職員が約1,970人、看護職員が約270人となっている。

【図表11】 介護・看護職員の配置職員数 **N=63**

	配置職員数(常勤換算)
介護職員	1,967.91
看護職員	270.27

2 医療的管理が必要な方の受け入れ人数

胃ろう412人、喀痰吸引290人等、その他を含め「受け入れ可能な人数」は合計で804人であり、基準日(平成26年3月31日)時点で「実際に受け入れている人数」は675人であった。

【図表12】 医療的管理が必要な方の受け入れ人数 **N=64**

医療的管理の内容	受け入れ可能な施設	受け入れ可能な人数	現在受け入れている人数
胃ろう	49施設	412人	367人
経管栄養	10施設	44人	47人
喀痰吸引	19施設	290人	229人
その他 (インシュリン・バルーン・ 在宅酸素・人工肛門等)	7施設	58人	32人

3 看取り介護について

看取り介護について、厚生労働大臣が定める施設基準に適合し、看取り介護加算が可能な体制を整えている施設は31施設で約50%となっている。また、現在は実施していない施設のうち、半数以上の施設が今後実施を検討している。

【図表13】看取り介護の実施体制 N=64

実施している	実施していない	うち、今後実施を検討している施設
		31施設

【図表14】看取り介護の実施人数 N=31

平成24年度	71人
平成25年度	66人

4 在宅復帰の取組みについて

在宅復帰の取組みを行っている施設は20施設で、全体のおよそ3分の1の施設が在宅復帰の取組みを行っている。

【図表15】在宅復帰の取組み N=64

在宅復帰に取り組んでいる	在宅復帰に取り組んでいない
20施設	44施設

【図表16】在宅復帰の実施人数 N=20

平成24年度	1人
平成25年度	11人

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）に係る調査結果

■ 調査対象事業所の概況

1 事業所定員数

調査基準日（平成 26 年 3 月 31 日）現在

定員数	1事業所あたりのユニット数の割合		
	1ユニット	2ユニット	3ユニット
1,991 人	510 人(25.6%)	1,346 人(67.6%)	135 人(6.8%)

※1ユニットの定員は原則9人

2 入居申込者総数

調査基準日（平成 26 年 3 月 31 日）現在

入居申込者総数(延べ人数)
492 人

■ 入居者・退去者について

1 年間の新規入居者数

年間の新規入居者数は、平成 24 年度が 494 人、平成 25 年度が 571 人であり、入居定員数に対する割合は、平成 24 年度は約 28%、平成 25 年度は約 29%となっている。

なお、新規開設に伴う定員増の影響を考慮した事業所定員数に対する割合は、平成 24 年度が約 23%、平成 25 年度が約 21%となっている。

【図表 1】年間の新規入居者数 N=126(H24) N=137(H25)

	新規入居者数	回答事業所定員数	比率
平成24年度	494 人	1,793 人	27.6%
平成25年度	571 人	1,991 人	28.7%

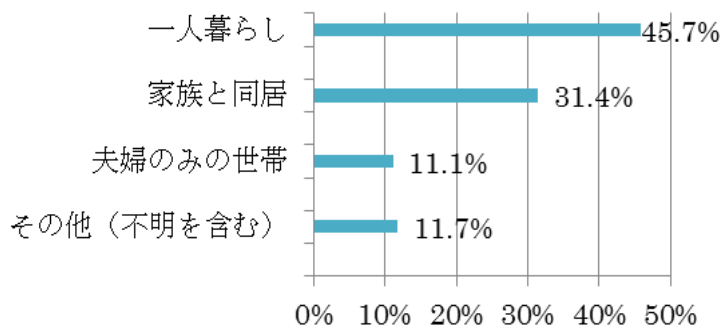
《参考》事業所の新規開設に伴う入居を除いた入居者数 N=119(H24) N=126(H25)

	新規入居者数	回答事業所定員数	比率
平成24年度	376 人	1,667 人	22.6%
平成25年度	379 人	1,793 人	21.1%

2 現入居者の入居前の世帯の状況

現入居者の入居前の世帯状況は、「一人暮らし」が約46%と最も多く、次いで「家族と同居」が約31%である。

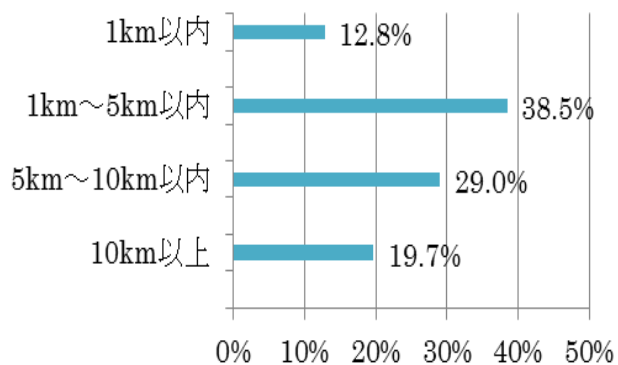
【図表2】 現入居者の入居前の世帯の状況 N=137



3 現入居者の入居前の自宅と事業所との距離

現入居者の入居前の自宅と事業所との距離は、「1km以内」が約13%、「1km～5km以内」が約39%であり、5km以内が全体の約5割強となっている。

【図表3】 現入居者の入居前の自宅と事業所との距離 N=135



4 年間の退去者数

年間の退去者数は、平成24年度が360人、平成25年度が422人であり、入居定員数に対する割合は、それぞれ約20%、約21%となっている。

【図表4】年間の退去者数 N=126(H24) N=137(H25)

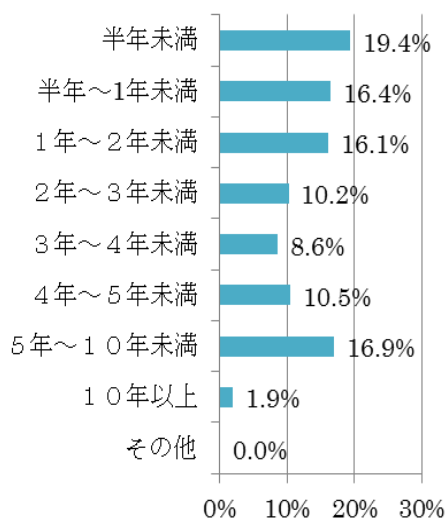
	退去者数	回答事業所定員数	比率
平成24年度	360人	1,793人	20.0%
平成25年度	422人	1,991人	21.2%

5 退去者の入居期間

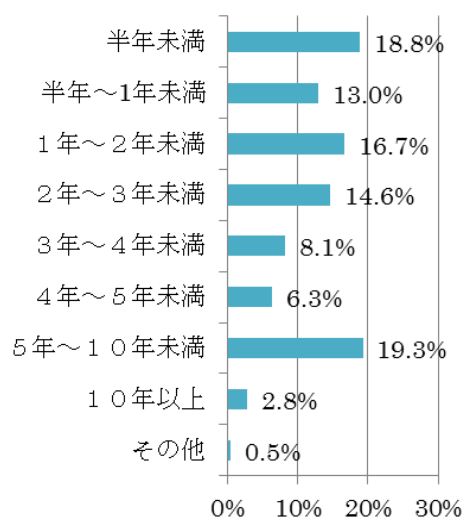
退去者の入居期間は、各年度とも「1年未満」、「1年以上3年未満」が概ね30%となっている。また、平均入居期間は、平成24年度が「2年10か月」、平成25年度が「2年11か月」となっている。

【図表5】過去の退去者の入居期間

〔平成24年度〕 N=126



〔平成25年度〕 N=137



【図表6】過去の退去者の平均入居期間

N=108(H24) N=123(H25)

平成24年度	2年10か月
平成25年度	2年11か月

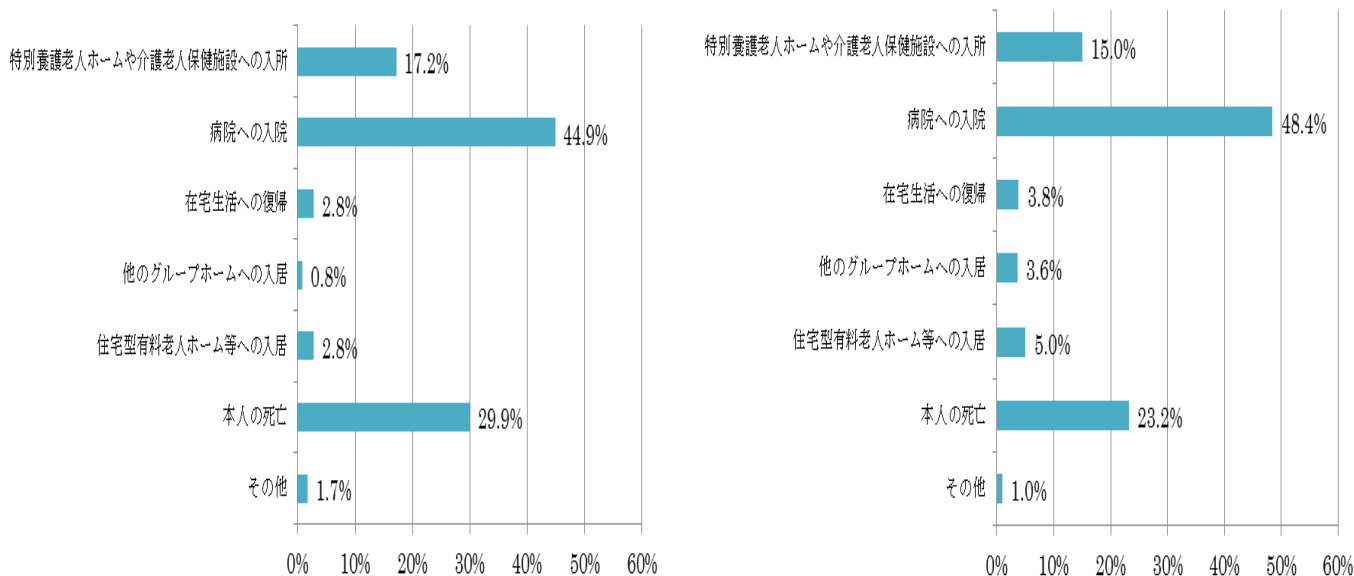
6 退去理由

退去理由は、平成24年度、25年度とも「病院への入院」が最も多く、続いて「死亡」、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設への入所」となっている。

【図表7】退去者の退去理由

〔平成24年度〕 N=126

〔平成25年度〕 N=137



■ 介護体制

1 介護職員の配置状況

介護職員の配置状況については、各事業所の常勤職員の勤務時間数に換算したところ、約1,084人となっている。

【図表8】介護職員の配置数と人員基準との比較 N=132

	配置職員数(常勤換算)
介護職員	1084.04

2 看取り介護について

看取り介護について、厚生労働大臣が定める基準に適合し、看取り介護加算が可能な体制を整えている事業所は68事業所で約50%となっている。また、現在は実施していない事業所のうち、半数以上の事業所が今後実施を検討している。

【図表9】看取り介護の実施体制 N=137

実施している	実施していない	
	うち、今後実施を検討している事業所	
68 事業所	69 事業所	
	36 事業所	

■ 地域との連携状況について

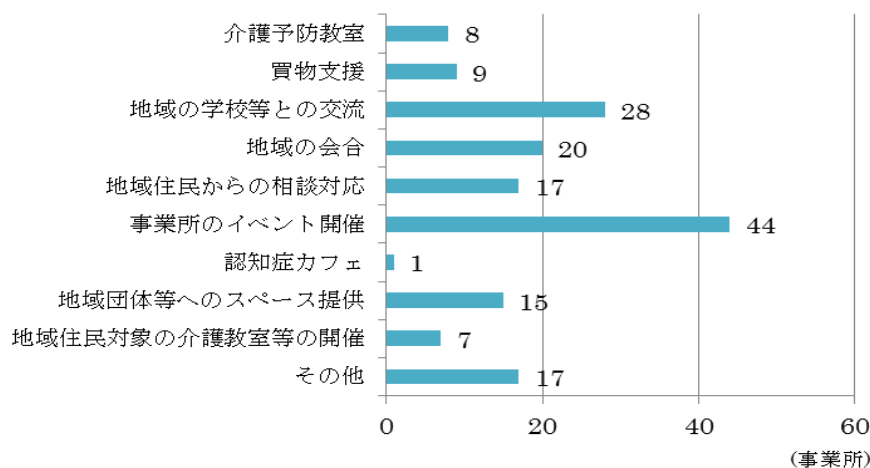
1 地域交流スペースの設置について

事業所内又は同一の敷地内に地域交流スペースを設置している事業所は65事業所であり、主に事業所のイベントや地域の学校等との交流に活用されている。

【図表10】地域交流スペースの設置状況 N=137

設置している	設置していない
65 事業所	72 事業所

【図表11】地域交流スペースで実施している取組み



2 地域との連携や地域との交流等の内容について

地域連携や交流等の内容としては、「自治会等の活動への参加」、「事業所主催イベントへの地域住民参加」、「消防訓練の共同開催」などとなっている。

【図表 1 2】 地域との連携や地域との交流等の具体的な内容

